

おお がき じょう あと じょう か まち
大垣城跡・城下町

おお がき し まる うち
大垣市丸の内



近代の大溝

大垣城跡・城下町は、揖斐川が運ぶ土砂によって形成された扇状地に所在し、発掘区は現在の大垣城跡天守から約200m西に位置しています。発掘調査によって、中世から近代にかけての遺構・遺物を確認しました。写真の中央は、近代の大溝（上幅5.4m・深さ1.2m）です。



漆器碗出土状況

近代の大溝の底に掘られた土坑1基から、漆器5点・箸8点とともに貝殻（ハマグリなど）約350点が出土しました。これらの遺物は、まとめて埋められたものと考えられます。



中世の溝

近代の大溝によって切られた中世の溝（上幅4.3m、深さ1.5m）です。この溝の断面は逆台形で、底面が水平に掘られています。写真以外にも、南北方向に並行する溝が、2条見つかりました。

約 2300 年前 約 1700 年前 約 1400 年前 約 1200 年前 約 800 年前 約 400 年前 約 150 年前

縄文				弥生			古墳			古代			中世			近世		近代
前	中	後	晩	前	中	後	前	中	後	飛鳥	奈良	平安	鎌倉	南北朝	室町	安土桃山	江戸	明治